

出雲市中心部へのアクセスが向上します ～（一）矢尾今市線 大塚工区 12月26日全線開通～

東林木バイパス交差点から南方を望む



斐川出雲大社線交差点から北方を望む



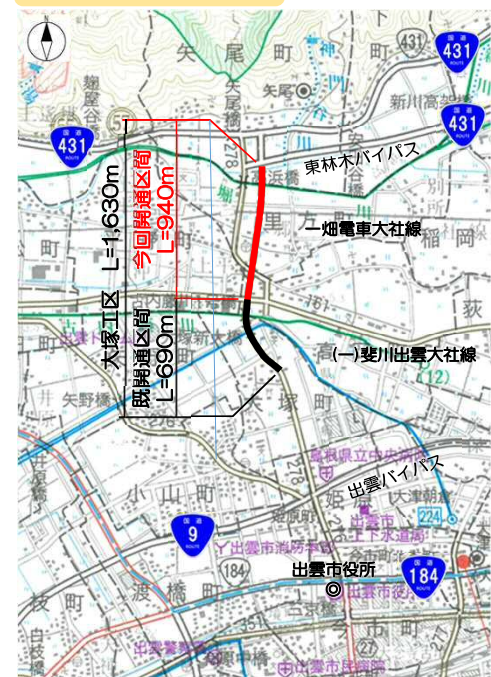
一般県道矢尾今市線は、出雲市矢尾町の国道431号から同市今市町の国道184号に至る道路で、出雲市街地北部の南北交通の基軸となる骨格幹線道路です。

このうち未改良となっていた矢尾町から大塚町の1,630m区間について、平成15年度より大塚工区としてバイパス整備を進めてきました。

平成20年12月には一般県道斐川出雲大社線より南側の690mを供用開始しておりましたが、このたび残る国道431号東林木バイパスまでの940mの工事が完成し、全線が開通することとなりました。

この開通により、平田地域や大社地域から出雲市中心部へのアクセスが向上するとともに、第一次緊急輸送道路としての機能強化、安全安心な歩行空間の創出など、地域の活性化に大きく寄与するものと期待されます。

位置図



事業概要

- 事業年度：平成15年度～令和2年度
- 事業箇所：出雲市矢尾町～出雲市大塚町
- 延長：1,630m（うち今回開通区間940m）
- 事業費：約79億円（うち今回開通区間約60億円）
- 道路規格：道路規格3種2級 設計速度60km/h
- 道路幅員：車道6.50m＝3.25m×2車線
歩道3.50m×2（里方跨線橋より北側は片側歩道）
歩道2.50m×1（里方跨線橋区間）
- 主要構造物：里方跨線橋L＝264.0m、新矢尾橋L＝16.6m
新高浜橋L＝36.6m、古内藤川1号橋L＝11.8m
大塚新大橋L＝38.5m

周辺環境に配慮して、里方跨線橋に低位置照明を採用しました。



開通式等の状況

令和2年12月26日、開通に先立ち高浜コミュニティーセンターで交通安全祈願祭と開通式が行われ、その後現地に移動し「さとがた保育園マーチングバンド」を先頭に通りに初めが行われました。



標準断面図

